

ほん屋

2017（平成29）年
10月

11号店

店主：図書館学生アルバイト

日中は夏の暑さはまだまだ続いています、夜風の気持ち良い日が増えてきている今日のこの頃。今夏まだやり残していることはありませんか？夏はまだまだ終わってませんよ！

※この発刊誌は、学生が作るニュース(図書館発行)です。
“ほん屋”of the students, by the students, for the students.

Let's Enjoy the Magazine☆Time

⇒このコーナーでは、皆に多く読まれた雑誌をランキング形式で紹介するぞ！

【2017年度前期(4月～9月)の雑誌累計閲覧回数ランキング10位まで】

1位 AIRLINE (66回)



航空技術者必読！
業界の動向が分かります。

2位 FPGAマガジン (48回)



FPGAをより深く知りたい方におすすめです。

3位 Interface (30回)



IT関連の話題を、広く知ることができます。

4位 電子工作マガジン (28回)

5位 ツールエンジニア (26回)

6位 AERA, CGWORLD (25回)

8位 キネマ旬報, トランジスタ技術 (24回)

10位 Tarzan, トランジスタ技術SPECIAL(22回)

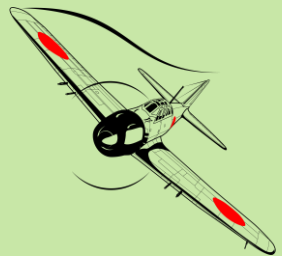
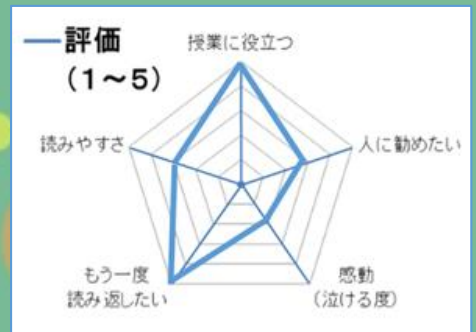
文学から世界情勢まで、様々な知識が得られる“雑誌コーナー”へぜひお立ち寄り下さい！！

閲覧回数の少ない雑誌は、図書館に置かなくなるかも……
読後は雑誌コーナー近くの、閲覧チェック表への記入を忘れずに！！

機械システム工学科
准教授 下嶋賢先生

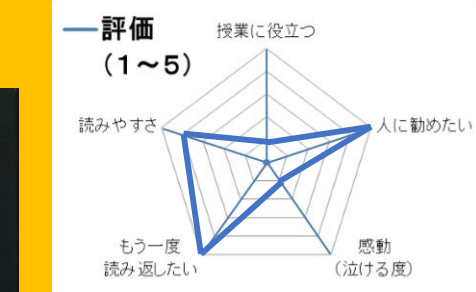
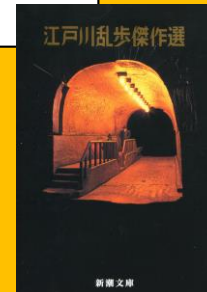
『零戦 その誕生と栄光の記録』
(堀越二郎)

この本の著者は、日本アニメで放映されたスタジオジブリ作品『風立ちぬ』の主人公です。このアニメは『風立ちぬ』と、『零戦』がミックスされており、アニメタイトルと本書は別の本です。さて、『零戦』ですが、飛行機の設計技師である堀越二郎氏自らが執筆しており、当時、考えられないような高度な要求に対する飛行機設計のアイデア出しや、その製作過程における困難を克服していく様子が描かれております。ものづくり技術者とは何か？の一端が分かる著書だと思いますので、ものづくりを目指す学生さんには是非手に取って頂きたい著書です。



専攻科 生物資源工学コース2年
新垣壮

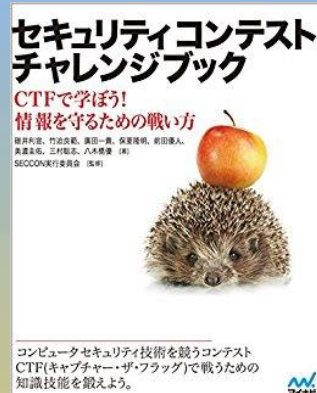
『江戸川乱歩傑作選』
(江戸川乱歩)



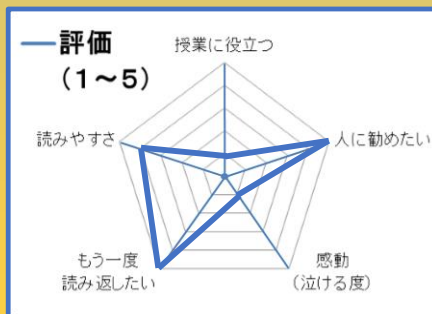
「魔が差す」という言葉をご存知でしょうか？これは一瞬の出来心により判断を誤るという意味らしいです。普遍的な日常から一変「魔」が差してしまい自らが「魔」となる。江戸川乱歩傑作選はそんな小説が9編収録された本です。この本で私が特に好きな話は「屋根裏の散歩者」と「人間椅子」の2編です。「屋根裏の散歩者」は犯罪トリックの魅力も去ることながら、殺人を犯す際の感情が手に取るように巧みに綴られた言語表現も大好きな点です。「人間椅子」は、ストーリーがひたすらに生々しい言葉で自らの恋慕の情を人妻に叫び続け、結果、常人には考えられないような恐ろしい思考に到達するまでの話です。ここまでレビューを書いて、提出物を忘れていた事に気が付きましたのでここでメたいと思います。全く魔というのはどこに潜んでいるかわかったもんじゃないですね。

専攻科 情報工学コース1年
古謝秀人

『セキュリティコンテストチャレンジブック
CTFで学ぼう！情報を守るための戦い方』
(碓井利宣, 竹迫良範, …他6名)



CTFとはCaptureTheFlag(キャプチャー・ザ・フラッグ)の略称で日本語では「旗取り合戦」とも訳されます。CTFの内容について一言で説明すると「情報技術に関する問題を解いて手に入れた得点で勝敗を決める」という内容になります。具体的には、膨大な大きさのデータや、Webサイトの中の本来は見ることのできない場所にある情報を探し出したりします。この本を読むことで、授業で習わないような知識や技能を鍛えることができます。



専攻科 機械システム工学コース1年
大城涼麻

『十の恐怖』
(常盤朱美, 森真沙子, …他9名)



この本は、11人の有名作家による短編集で、「十」という数字と「恐怖」をテーマにそれぞれの作家が作品を書いており、1つ1つの話が短いため本を読むのが苦手な人でも読みやすく、また同じテーマでも1人1人の世界観による「恐怖」の違いがあるため自分にあった世界観を持った作家さんを見つけることもできます。ぜひ、この本でそれぞれの作家さんによる恐怖を味わってみて下さい。



最近のニュースに関連する本の特集



今回のテーマ

『UUUM上場』

ヒカキンさん「上り調子」 ユーチューバー支援会社上場

動画共有サイト「ユーチューブ」に投稿する「ユーチューバー」のマネジメント支援会社「UUUM(ウーム)」が30日、東京証券取引所マザーズに新規上場した。ユーチューバーの支援業務をする企業の上場は初とみられる。この日の取引では、動画配信事業の好調を背景に買い注文が殺到し、売値がつかなかった。(中略) 同社に所属するユーチューバーは、ヒカキンさんのほかに、はじめしゃちょーさんら100人超。同社は動画制作支援などを請け負うほか、動画の再生に応じて得られる広告収入の配分などを担う。2013年に創業し、18年5月期の売上高は89億円を見込んでいる。(大隈悠)

朝日新聞DIGITAL 2017/8/30の記事より

新興企業の上場ということで、投資(株式、FX)や金融工学関連の本を紹介します。読みやすい初心者向けの本もあるため、株やFXに興味ある方はぜひこれらの本を読んで、投資の世界を覗いてみよう！あなたの投資人生を始めるきっかけになれば幸いです。

『超入門 株の教科書』
(岩本秀雄)



ポップなイラストが豊富であり、株式の基本的な知識や売買方法・儲けるコツを学ぶことができる。

『世界一やさしい金融工学の本です』
(田淵直也)



マンガ描写を織り交ぜつつ、金融工学(デリバティブ、リスク管理)のエッセンスを説明している。



『株2年生の教科書』
(西村剛・中原良太)

株で利益を得るためのポイントが載っている。また、月毎のオススメ銘柄や業種銘柄について解説している。



『新女子高生株塾』
(ホイチョイ・プロダクションズ)

株式投資やFXについて、全編マンガ形式で描かれている。リーマンショックなどの実例を用いて話が展開されているため、世界経済も知ることができる。

他にも、ほん屋ブースに設置してます！

図書館の中では静かにしてください

PBL準備やテスト勉強など、大人数で図書館を利用する際は、周囲の邪魔にならない声の大きさを話してください。よろしくお祈いします。



店主のつぶやき

後期が始まり、数週間が過ぎました。新学期のスタートは順調でしょうか？学科やコースによっては既にレポート課題が出されたかもしれないですね。インターネットなどを利用して調べ学習を行うのも有効ですが、図書館で本を手に取りながら調べるのもいいと思います。これからも「ほん屋」をよろしくお祈い致します。